



スペインの未来。(パドロンにて)

NPO 法人イスパ JP 会員のみなさまへ

いつも活動にご支援、ご協力をいただきありがとうございます。

3 月 8 日に総会が終わり、今年度も東京をスペイン語で案内する東京ガイド、スペインや中南米の多様な話題をオンラインでお話いただくテルトゥリア、スペイン映画の会、スペインの翻訳助成申請のサポートなど、さまざまな活動が行われています。月に 2 回、スペイン語圏お楽しみ情報の配信も続けております。

今年も会員のみなさまに楽しんでいただきながら、イスパ JP ならではの活動を続けてまいります。ご意見、ご要望も、ぜひお寄せください。

今後ともどうぞよろしくお願いいたします。

理事長 宇野和美

hispaJP

NPO 法人イスパニカ文化経済交流協会
ニュースレター No. 10 (2025 年 8 月)

——— 目次 ———

- P. 1 NPO 法人イスパ JP 理事長挨拶
- P. 2 2025 年度上半期活動報告
 - (1) テルトゥリア
 - (2) 東京ガイド
- P. 5 スペイン語翻訳助成金申請サポート
- P. 6 スペイン語文学情報
- P. 7 スペイン映画の会
- P. 8 お知らせ

2025 年度上半期活動報告

(1) ～テルトゥリア～

◆第 18 回テルトゥリア『ピレネーに学ぶ』(オンライン+見逃し配信)



2025 年第 1 回目のテルトゥリア『ピレネーに学ぶ』を、スペイン文学者で、スペイン王立アカデミー外国人会員の清水憲男先生をお迎えして、2025 年 1 月 26 日(日) 19 時半から、Zoom によるオンラインで開催しました。

冒頭、司会による画面共有操作のミスがあり、ご迷惑をおかけしましたが、清水先生には、ご自身の撮影による数々の写真スライドと共に、ピレネー山脈の中に点在する寒村を主にご紹介いただき、観光案内書では知ることのできない、ピレネー山脈に秘められた歴史文化を辿る貴重なお話をしていただきました。



イスパ JP のテルトゥリアは通常 1 時間の講演ですが、清水先生の豊かで深い知識に裏打ちされたお話を聴く絶好の機会でしたので、予定時間を延長しお話しいただきました。視聴者も参加しての質疑応答では、NHK の清水先生の講座でスペイン語を学んだという参加者や、大学でのかつての教え子も含め 58 名

がオンラインで集い、時間の許す限り Tertulia (おしゃべり) を楽しみました。

実際にピレネーを訪れてみたいという意欲を持った参加者も多く、事後に寄せられたアンケートでは、ピレネーに関する続編を希望する声もありました。清水先生の知識と情熱に感銘を受け、ピレネーの魅力的な歴史と文化に触れる機会となりました。

◆第 19 回テルトゥリア『パナマ運河今昔物語～トラмпは運河を取り戻すか?』(オンライン+見逃し配信)



2025 年第 2 回目のテルトゥリアでは、パナマ運河をとりあげました。日本におけるパナマ運河研究の第一人者である小林志郎氏をお迎えして、2025 年 6 月 1 日(日) 19 時から、Zoom によるオンラインで開催しました。長年ジェトロで活躍なさり、「パナマ運河代替案調査 3ヶ国調査委員会」日本政府代表や、パナマ政府「両洋間地域庁」の投資顧問などの要職も務められた経験をお持ちの小林講師ならではのお話を、貴重なスライドを見ながら 1 時間ほどお話しいただいたあと、当日リアルタイムでオンライン参加した 31 名で時間が許す限り語り合いました。トラмпの「運河を取り戻すか?」は、「いつものブラフとは言え、パナマから中国の影響力をできるだけ排除し、アメリカ船舶の通航料金割引を試みるかも知れない」とも。



◆2025 年後期のテルトゥリア

10 月 25 日（土）午後、スペイン大使の料理人エティエンヌ・ソントッグさんをお迎えし、スペイン料理トーク&クッキングクラスの開催が決定しました。お料理がテーマですので、久しぶりにリアル会場を設けて準備中です。お楽しみに。

事後のアンケートでは、「パナマ運河建設時の歴史的な背景、特にアメリカによる政治的な駆け引き、今回の話はそのごく一部だと思いますが、知ることができ勉強になりました」、「普段“パナマ運河”と聞くことはあっても、実際の様子や歴史については知らないことばかりですので、勉強させていただきました」と好評でした。

これからも、より多くのスペイン&ラテンアメリカファンに喜んでいただけるような面白いテーマでテルトゥリアを企画したいと考えておりますので、ご意見、ご希望など、hispa.jp.evento@gmail.com までお寄せください。

(2) ～東京ガイド～

本年度「東京ガイド・プログラム」は下記の3プログラムを実施しました。

第1回 王子飛鳥山ツアー

開催日：4月5日（土）

ルート：洋紙発祥の地碑→お札と切手の博物館→北とぴあ17階展望ホール→王子神社→音無親水公園→飛鳥山公園→紙の博物館→北区飛鳥山博物館→渋沢資料館→晩香廬→青淵文庫→七社神社→西ヶ原一里塚→解散

参加者数：11名



第 2 回 原宿表参道ツアー

開催日：5 月 3 1 日 (土)

ルート：コーポオリンピア→南国酒家→「ハラカド」(東急プラザ原宿)→太田記念美術館→
「キデイランド本店」→神宮前小学校→表参道ヒルズ→伊藤病院→アップルストア→
山陽堂書店→マツモト文具店→青南小学校→青山ヨクモック→根津美術館→ブルーノート東京→
青山スパイラル→紀伊国屋インターナショナル→解散

参加者数：10 名



第 3 回 葛飾柴又ツアー

開催日：6 月 2 2 日 (日) 13:00~15:30

ルート：フーテンの寅像・さくら像→柴又観光案内所→柴又八幡神社→帝釈天参道→柴又帝釈天→
矢切の渡し→寅さん記念館・山田洋次ミュージアム→山本亭→柴又真勝院→柴又駅で解散

参加予定数：17 名



スペイン語翻訳助成金申請サポート

今年度のスペイン政府による翻訳助成申請は、4 月 16 日に公募開始、5 月 27 日が締め切りでした。おかげさまで、これまでにサポート実績のある出版社 1 社と、はじめての出版社 2 社から、計 3 件のプロジェクトの申請をサポートしました。昨年度に引き続き、理事の宇野、小原の 2 人体制で担当し、スペインの文化省窓口に適宜問い合わせ、出版社と確認をとりながら申請を完了することができました。



アンドレア・アブレウ
村岡直子・五十嵐絢音訳
ANDREA ABRU
PANZA DE BURRO
国書刊行会

また、2023 年にサポートしたアンドレア・アブレウ『両膝を怪我したわたしの聖女』（村岡直子 五十嵐絢音訳 国書刊行会）（原題 Panza de burro）が刊行になりました。

アルゼンチンの翻訳助成プログラマ・スールは、昨年から予算規模が縮小し、今年も分野は、詩、エッセイ、コミック、クロニカに限定されています。

スペインの翻訳助成は、第一次審査の結果がわかるのがおそらく 9 月以降で、最終的な結果がわかるのは 11 月ごろになるかと思います。申請件数が毎年増えて激戦になっていますが、無事助成がおりるよう、願っています。

スペイン語文学情報

1. チリの国民的詩人、ガブリエラ・ミストラル

ラテンアメリカで初めてノーベル文学賞を受賞した文学者を、皆さんはご存じですか？ ガブリエル・ガルシア＝マルケス？ パブロ・ネルーダ？ いいえ、1945 年に受賞したチリの女流詩人、ガブリエラ・ミストラルです。

1889 年、チリ北部のビクーニャに生まれたミストラルは、決して恵まれているとはいえない環境のなかで独学で詩作を始め、ごく若いうちからその才能を開花。やがて「国民の母」と称されるほどの大詩人となりました。また教育にも情熱を燃やし、代用教員からスタートして教師、大学教授と上り詰め、教員退職後は外交官として活躍しました。

まさにスーパーウーマンと呼ぶにふさわしい人物ですが、その一方で、愛する人の自殺を二度も経験するなど、苦難の多い人生を歩んだことでも知られています。実生活で味わった悲痛な思いが込められているからこそ、彼女の詩は読む人の心を打つのでしょう。

ミストラルについて深く知るには、以下の邦訳詩集や評伝、研究書がおすすめです。お近くの図書館に所蔵されていたら、ぜひ手に取ってみてください。

『ガブリエラ・ミストラル詩集』（田村さと子編・訳、小沢書店、1993）

『ガブリエラ・ミストラルー風は大地を渡る』（芳田悠三著、吉田美意子訳、JICC 出版局、1989）

『謎ときミストラル ガブリエラ・ミストラルの「死のソネット」研究』（田村さと子著、小沢書店、1994）

2025 年は、ミストラルがノーベル文学賞を受賞してからちょうど 80 年の記念すべき年。日本でも、8 月 4～10 日に大阪・関西万博のチリ・パビリオンでミストラル・ウィークが開かれるのをはじめ、関連イベントがいくつも開催されます。この機会にチリの国民的詩人の世界に触れてみてはいかがでしょうか。



チリ国立図書館の展示（2025 年 5 月 19 日撮影）

2. イスパ JP ホームページのブログ「スペイン語文学情報」

イスパ JP ホームページに、スペイン語から日本語に訳された書籍についての情報を掲載しています。2025 年上半期は以下の書籍についてブログを投稿しました。

- ・ アデライダ・ガルシア＝モラレス著『エル・スール 新装版』
ビクトル・エリセ監督の名作映画『エル・スール』の原作小説です。

<https://hispa.jp.org/info/literatura005/>

スペイン映画の会

2025 年度第一回目の荻内先生の「スペイン映画の会」は、4 月 27 日（日）に先生のご厚意で、「荻内西荻窪亭」で、開催させていただきました。参加者数は幹事を含めほぼ定員の 14 名でした。詳細は下記をご覧ください。

- ・日時：2025 年 4 月 27 日（日）14:00～17:30（受付開始 13:30）
- ・講師：荻内勝之先生（東京経済大学名誉教授）
- ・場所：「荻内西荻窪亭」
- ・作品：「テリー・ギリアムのドン・キホーテ」（英：The Man Who Killed Don Quixote）2 時間 13 分

監督	テリー・ギリアム
原作	ミゲル・デ・セルバンテスの「ドン・キホーテ」
脚本	トニー・グリソーニ（英語版）、テリー・ギリアム
製作	2018 年完成。同年にカンヌ国際映画祭でプレミア上映。日本公開 2020 年。スペイン・ベルギー・フランス・イギリス・ポルトガル合作映画。
出演	アダム・ドライバー（トビー）、ジョナサン・プライス（ハビエル＝ドン・キホーテ）、ジョアナ・リベイロ（アンジェリカ）、オルガ・キュリレンコ（ジャッキー）、ステラン・スカルスガルト（ボス）、オスカル・ハエナダ（ロマ）他多数

《作品紹介》今は CM 監督となったトビーは、仕事への情熱をすっかり失くしている。スペインの片田舎で謎のロマから 1 枚の DVD を渡される。それは、かつて学生時代に賞をとった、自作のドン・キホーテの映画だった。その村が近いと知り、トビーはそこを訪れる...、映画はこうして始まります。

『テリー・ギリアムのドン・キホーテ』は、昨年 10 月に鑑賞した、偉大なオペラ歌手シャリアピン主演・パプスト監督による白黒映像の格調高い作品とは全く異なります。表現方法、時代背景、解釈のいずれにおいても大きな違いがあり、ギリアム監督はこの映画化に実に 30 年をかけ、9 回も製作中断を経験したと言われています。最終的には完成を迎えるのですが、カンヌでは絶賛された一方で、北米では酷評を受けるなど賛否が分かれる作品です。参加者の方々も解釈に戸惑われた場面もあったかもしれません。「現代版ドン・キホーテ」とも言われる本作は、現実と幻想が交差する物語で、支離滅裂で理解し難い場面も多くありますが、映像美と独特のユーモアが魅力です。そして何より、ドン・キホーテのメッセージは奥深く、「人生をどう生きるか」という問いを改めて投げかけてきます。

荻内先生からは、特に重要な場面では映像を止め、原作との関係や解釈についてご説明いただきました。異なるドン・キホーテの 2 作品を鑑賞したことで、それぞれの違いを味わいながら、セルバンテスの原作への理解も一層深まったのではないのでしょうか。

映画鑑賞後は、荻内先生のレシピで作ったトルティーリャや、イスパ JP 桜井理事よりの差し入れのワインやおつまみ類を囲んで、皆さまと楽しく歓談いたしました。



映画「テリー・ギリアムのドン・キホーテ」
懇談の様子。



荻内先生のご著書「ドン・キホーテ」
全 4 巻の紹介。

《今後の予定》

2025 年第二回目の開催については、現在企画を練っております。これからも楽しく、そして勉強になる映画会を実現できるように努めて参ります。皆さまのご要望も是非お寄せ下さい。次回もどうか、奮ってご参加下さいますようお願いいたします。どうぞお楽しみに。

～お知らせ～

(1) 第 9 回イスパ JP 文学イベント

ラテンアメリカで子どもの本を書くということ チリの児童文学者マリア・ホセ・フェラーダさんを迎えて

2026 年の国際アンデルセン賞文学賞候補にチリから選出され、スペイン語圏全体でもめざましい活躍をしている作家マリア・ホセ・フェラーダさんが来日します。フェラーダさんは、どんな問題意識を持ち、何を思い、どんなことを大切にしているのでしょうか？

理事長の宇野和美が聞き手となり、その魅力に迫ります。会の冒頭では、宇野が 5 月に訪れたチリの画期的な児童図書館 BILIJ を紹介します。

めったにない機会です。どうぞお見逃しなく！

【マリア・ホセ・フェラーダさんプロフィール】



1977 年、チリ南部のテムコ生まれ。ジャーナリスト、作家。俳句をこよなく愛し、簡潔で美しい文章に定評がある。人権、難民など、社会的なテーマにもとりくむ。2021 年に SM イベロアメリカ児童文学賞、2022 年にセルバンテスチコ賞の他、受賞多数。邦訳作品に『いっぽんのせんとマヌエル』『いっぽんのせんとマヌエル ピクニックのひ』（以上偕成社）、『ぴう！』（ワールドライブラリー）、『Los animales eléctricos でんきどうぶつ』（A buen paso）があり、今秋『ティーとカメレオン ふたりはいつだっていっしょ』が、実業之日本社より翻訳出版予定。

日時：2025 年 8 月 15 日（金）18:00～20:00 店舗＋オンライン＋見逃し配信
（終了後 サイン会）

会場：ブックハウスカフェ 2F ひふみ座（千代田区神田神保町 2-5 北沢ビル）

参加費：1000 円（店舗定員：50 名 オンライン定員：50 名）

お申し込み：以下の URL からお願いします

<https://bookhousecafe.jp/event/content/1965>

主催：ブックハウスカフェ <https://bookhousecafe.jp>

お問い合わせ yoyaku@bookhousecafe.jp TEL: 03-6261-6177

共催：NPO 法人イスパニカ文化経済交流協会（イスパ JP）

協力：株式会社偕成社、株式会社ワールドライブラリー

（2）イスパ JP の「お楽しみ情報」は毎月 5 日と 20 日発行のメルマガです。イスパ JP のイベントはじめ、スペイン語圏関連の講演会、映画、展覧会、新刊書籍、レストラン等々、スペイン語圏の文化を愛する会員の皆さまの日々の生活の楽しみとなる情報をお届けしています。これまでお寄せくださった様々な情報に感謝しつつ、引き続き皆さまからの情報提供をお待ちしております。皆さまとイスパ JP をつなぐ身近な存在となりますように。

（担当：福西 雅子、「新刊情報」担当 村岡 直子）

日本とスペイン語圏に橋を架ける活動と一緒にいたしましょう。

私たちの様々な活動が、日本とスペイン語圏との強い絆となることを願っております。

お一人おひとりの支援が一つの大きな力となり、様々な可能性が広がってゆきます。

ご友人やお知り合いの方でイスパ JP の活動に少しでもご興味がある方がいれば、是非とも NPO 法人イスパニカ文化経済交流協会（イスパ JP）をご紹介ください。

お問い合わせ先：info@hispa.jp



スペインの子供たち。(撮影：桑原真夫)

hispaJP

NPO 法人イスパニカ文化経済交流協会

〒107 - 0062

東京都港区南青山 3-1-36 青山丸竹ビル 6F

info@hispa.jp

<https://hispa.jp>

<https://www.facebook.com/hispaJP>